

# 海洋ゴミについて考えてみよう!!

みんなは「海洋ゴミ」って、知ってる？

人が陸で使ったゴミの一部は、山、川、海へとつながる水の流れを通じて海岸に流れていく。そのゴミはまた、風や波によって海を漂い遠い外国へも流れていくんだ。

そうした「海洋ゴミ」は、さまざまな海のいきものや、鳥たちが餌と間違えて食べてしまうんだ。

## 今、知っておきたい海洋ゴミの事情

海洋ゴミは、私たち一人ひとりの生活と密接な関係にあるものです。海洋ゴミの問題を知ることで、海をキレイにするアクションにつなげましょう。



## そもそも海洋ゴミとは...

海岸に打ち上げられた「漂着ゴミ」、海原を漂う「漂流ゴミ」、海底に沈んだ「海底ゴミ」の総称のこと。私たちが暮らす街で発生したゴミが、海洋ゴミの8割を占めているといわれています。

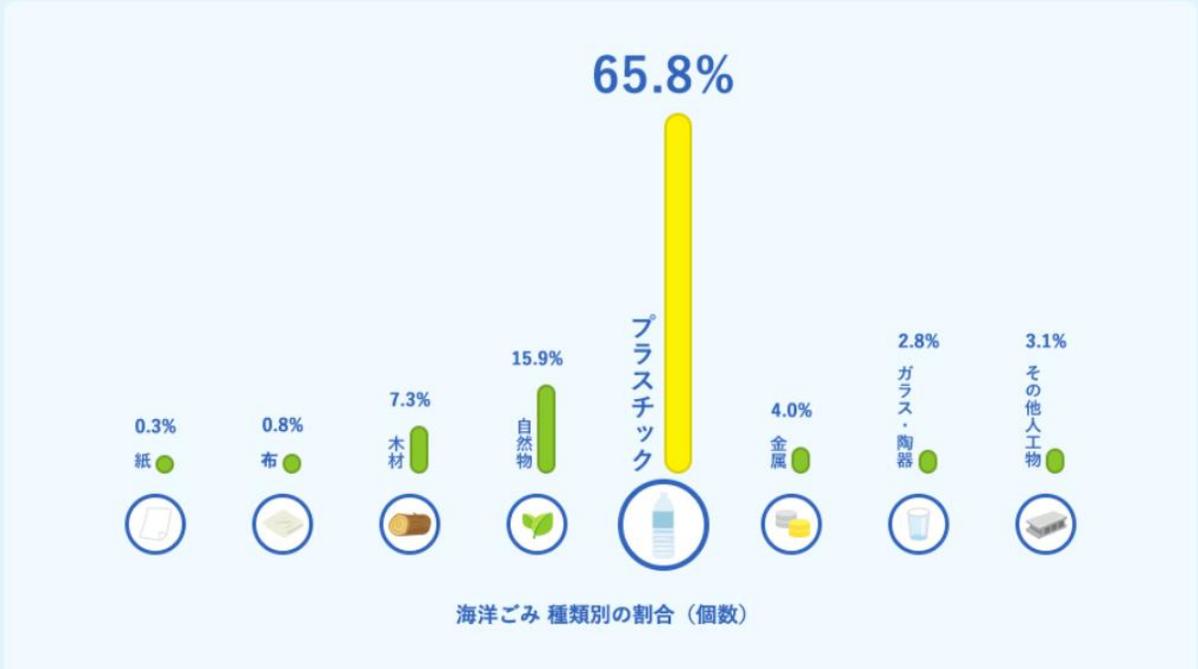
# 海洋ごみの種類

釣り糸や漁網などの海で使う道具の他、

ペットボトルやレジ袋といった日常的に使う物が多く含まれています。

中でも、一度海に流れてしまうと半永久的に分解されないプラスチックごみが世界的に問題視されています。

※5mm以下になったプラスチックを「マイクロプラスチック」といいます。



出典：海洋ごみをめぐる最近の動向 (環境省) □

## 海への流出量

2016年にスイスのダボスで開催された世界経済フォーラム年次総会で、毎年少なくとも年間800万トン分のプラスチックごみが海に流出していると報告されました。

800万t/年



## 考えられる海洋ごみの影響

海に住む生き物が誤ってプラスチックごみを食べたことで死んでしまった事例が、すでに世界中で報告されています。また、具体的な影響こそまだ明らかにされていませんが、マイクロプラスチックを食べた魚を食べるのは私たちであることから、その悪影響も懸念されています。